

はじめに

ひと昔前までは、公務員と言えば、「年に1回昇給はするし、ベースアップもある」、「身分は保障されている」、「退職金や年金もバッチリ」であった。

しかし、昨今の情勢は、その『公務員』にとって厳しくなるばかりである。

鹿児島県の財政危機が叫ばれ、給料のカットや昇給制度の見直し、退職手当支給率の改定など、その影響は及んできている。

それは、私たち学校事務職員にとっても例外ではなく、さらに、高等学校の再編整備や定数の減少、IT化の推進など、取り巻く環境は大きく変わってきている。

また、他の都府県においては、センター化や学校事務職員の業務の一部をアウトソーシング（外部委託）しているところもある。

このような状況の中、学校事務職員も変わらないといけない時期にきているのではないか。学校現場の中で、私たちは、どのような意識を持ち、学校運営に関わり、日々の業務を進めているのか。また、業務以外では、どのようなことを行っているのか。それらを模索すべくアンケートをおこなった。

「学校事務職員」としての自分を見つめ直し、真に学校にとって必要とされ、なくてはならない人になるには、今、何が必要なのか。そして、今後、どのように対処していけばいいのか、みんなで考えるきっかけになればと思い、この発表をすることになった。

## 1 生徒との関わりについて

私たちは「学校」という場所で働く事務職員である。当然、そこには生徒がおり、授業をしていなくても、直接的・間接的を問わず何らかの形で生徒と関わりが出てくる。

### (1) あなたは、どのような場面で生徒と関わっていますか？

①清掃時	(177)人
②窓口(授業料納入・証明書発行)	(102)人
③事務室入退時	(16)人
④登下校時(通学時)	(14)人
⑤昼食(給食)時	(13)人
⑥学校行事・特別活動	(12)人
⑦部活動	(10)人
⑧気づいた時点	(8)人
⑨施設破損時	(6)人
⑩あいさつ	(4)人
⑪許可願の押印時	(3)人
⑫欠席届	(2)人
⑬校外(アルバイト等)	(2)人
⑭消耗品交換時	(2)人
⑮農業実習時	(1)人
⑯図書館利用時	(1)人
⑰環境整備	(1)人
⑱就職面接指導時	(1)人
⑲寮関係	(1)人

生徒と事務職員の接する機会と言えば、多くは窓口での授業料徴収、清掃時間が多く、自ら積極的に関わろうとしないと、ほとんど生徒との関わりはないということになりかねない。しかしアンケートの結果からもわかるように、登下校時や学校行事、あいさつなど、様々な場面で、生徒と積極的に関わっている事務職員も多いことがわかった。

生徒との関わりについてどのように考えているのだろうか。

(2) 生徒との関わりについて、あなたの考えをお書きください。

【関わった方が良いという意見（207件）】

意見・考え等	回答数
学校に勤務しているので当然	85
学校職員として関わらなければならない	8
必要性に応じて関わる	6
学校をよりよい環境にするためには、生徒の生の希望や意見を聞かなくてはいけない	6
積極的に挨拶をする	5
学校に勤務しているのだから、生徒と関わって事務職員として役に立てたらと思う	5
一人の大人・社会人として関わっている	5
可能な限り関わるべきである	4
可能な限り関わりたい	4
生徒指導を含め、教員と同様に関わるべきだ	3
生徒指導という点では学校全体で取り組まなければいけないのでは	3
高校は社会人としての必要な常識を身につける場と考えている。事務室窓口では言葉遣いや態度・服装を注意しても良いと思う	3
生徒にとっても教員以外の職種の者と交流するのはためになるのでは	3
現状ではなかなか積極的な関わりが難しい環境を踏まえれば、生徒とのスタンスをどのように考えるかで、その意識の持ち方も変わってくるのでは	3
授業料等の徴収など、生徒と関わる人が多いので、日頃から良好な関係を築くことが必要	2
授業料関係で相当関わりがある	2
生徒がいるから学校だ。直接・間接関係なく、生徒と関わるのは当然だ	2
学校行事等で関わっていきたい	2
事務職員は管理運営面や会計事務に従事するべきだが、必要な範囲において生徒指導にも関与する場面がある	2
ある程度の関わりは当然	2
学校職員として避けて通ることはできない	2
学校に勤務せずとも、常識的範囲内で関わるのは社会人として当然	2
縁があれば関わるのは当然	2
全職員が共通理解のもと、随時、適宜、接すべきと思う	2
校則を守らせることは、教員のみでなく事務職員も参加する	2
積極的に関わっていきたい	2
挨拶や服装など基本的なことについては声をかけている	2
意識的な関わりは各自の特技・力量との関係から生ずるものだ	2
努めて声をかけるようにしている	2
生徒とかかわるのはよいことだ	2
生徒と関わることで仕事が円滑に進むし、仕事自体が楽しく、また、やりがいがある	2
着かず、離れず、万遍なく関わり合えたら理想的だ	2
共通指導 ゼロトレランスの発生	1
教員と違ったアドバイスができるのでは	1
将来、事務職員を目指す生徒がいるかもしれない	1
教科の教授活動はできないが、校内における教育活動はできるのでは	1
様子がおかしい生徒には話しかけている	1
職務上生徒に関わるのは非常に重要なことだと思うが、教員（担任等）との連携が大切	1
教職員の一員でもあるし、生徒からみれば先生になるという考えで接する	1

意見・考え等	回答数
現状でよいが、事務室の存在をもっと意識付ける機会があればよいと思う	1
大人として、当然、教えるべきは指導する	1
学校に勤務しているので、それぞれの立場で関わるのは当然であり、生徒へ何らかの影響を与えたいと思っている	1
事務職員なりの観点で生徒の教育に関わっていただけるとよい	1
基本的に生徒を預かっている気持ちで接しているので、ボランティア活動等も一緒に参加している	1
同じ時、同じ場所に居合わせた人間として関わっていくのは当然	1
生徒と関わる場面は多々あるが、どこまで立ち入るかの判断に迷うことがある	1
学校にいる大人として生徒との関わりなしには仕事はできないと思う	1
生徒の家庭状況等の把握も積極的に関わった方が仕事の面でもよいのでは	1
絶対ではないが、時と場合による	1
学校事務職員としての意識を持ち、多くの生徒と少しでも親しく接していかれたらと思う	1
勤務上関わりはあると思う	1
生徒の成長をみるためにも、関わるのは重要である	1
学校種にもより差があると思われるが、関わるのは重要である	1
業務以外でも関わっていききたい	1
学校にいる限り、指導を含めて生徒に関わる必要はあると思う（教員に比べて難しい面もあるが）	1
できれば関わり合いたいが、会話が苦手でどう接したらよいかわからない	1
できるだけ名前を覚えるようにする	1
関わりを持つことで、人として学ぶことが多い	1
部活動等一緒に運動したい	1
部活動への激励	1
生徒の自立に役立てばと思い協力している	1

【関わらない方がよいという意見（38件）】

意見・考え等	回答数
関わるのは当然だが、教育的なことに踏み込んでいいのかわからない	5
積極的な関わりは必要ないが、学校事務職員として多少の関わりは必要	5
なかなか機会が少ないような気がする	4
生徒の内情を把握できていない場合が多いので、注意が必要	3
できる範囲内で	3
世間一般で通用することについては関わるべきだが、生徒指導等深い部分については関わるべきでない	2
些細なことでもトラブルになりやすいので、積極的に関わっていくかは疑問である	2
どういうふうに、どこまで関わっていくかが問題と考える	2
必要以外、関わらないようにしている（親しくなりすぎると業務に支障がある）	1
関わってはいけない	1
仕事で関わるのは当然だが、仕事外で関わろうとする意識は低い	1
生徒と関わるのは仕方がないが、積極的に関わるのは避けたい	1
事務に集中したい	1
教員ではないので、過ぎないように	1
生徒と関わっていくことは当然だと思うが、教員以上に深く関わるのは適切でない	1
職務上必要の範囲	1
業務に追われてなかなか時間がとれない	1
限界がある	1
事務職員が本分である。事務の専門職になるべきだと思う	1
生徒と関わるのは大切だと思うが、問題行動等に遭遇した場合など、適切に対応できる自信がない	1

学校（に勤務しているの）だから、生徒との関わりがあるのは当然であり、職員としてだけではなく、ひとりの社会人（大人）として接し、社会的常識を教えるとともに、生徒の意見や考えを聞くことによって、学校事務に役立つのではとの考えがある反面、「事務職員は事務に専念すべき」、「教員ではないので、必要以上に生徒と関わってはいけない」などの意見もみられる。

## 2 「部活動」との関わりについて

事務職員が生徒に関わっている場面のひとつに「部活動」があるが、事務職員と部活動についてはどうだろうか。

(1) あなたは、部活動に関わっていますか？（関わっていたことがありますか？）

- ①いる (41)人  
②ない (213)人

(2) 「いる（ある）」と答えた方にお尋ねします。

事務職員が部活動に関わるうえで困ったことや思うことをお書きください。

意見・考え方等	回答数
事務職員は単独で部活動や引率ができないこと、部活動に係る手当がつかない	9
勤務時間との関係（部活動開始時間（16時～）と勤務終了時間（17時））	5
時間外に制約されるので、指導が困難である	4
部活動に係る出張が認められない（年休で行った）	4
教員との関係	2
時期によって、時間に余裕がなくみれなかったときが多々あった	2
放課後や土・日等休みが取れない	2
教員のみが指導できるとの認識はナンセンス	2
指導ではなく、部活動に関する施設設備については積極的に取り組みたい。応援する	1
表向き指導ができない	1
時間外に関わっている。顧問としてではなくオブザーバー的に	1
特技や能力があり、本人のやる気があればやった方がよい	1
引率の旅費やその他諸々の経費	1
事務職員は単独で部活動指導や引率業務ができないこと、部活動指導に係る手当がつかないことを理解したうえで行うべき	1
自分がどこまで関わっているのか判断できない	1
自分で好きにやっている分には問題ないと思う	1
本務との関係	1
絶対にしてはいけない	1
顧問教員の入れ替わりによってやり方が変わり、中途半端な関わり方になってしまいがち	1
機会があればかかわっていい	1
単独で部活動指導ができないのはおかしいのでは	1
専門外競技を担当した場合の指導方法	1
教員との立場上の差異を考えながらの人はやらない方がよいのでは	1
指導する以上は最後まで当然かかわりたいもの	1
技術があればやるべきであり、学校の活性化におおいに役立っていると思う	1
特技があれば生徒のために生かさなない手はない	1
部活動が教育活動の視点で行われているのであれば、教員等の資格が必要と思うが現実はそうはなっていない	1
好きでやっているボランティアだと思われる	1
部活動をやっていても事務分掌の量は考慮されない	1
学校や事務室の理解があれば行いやすい	1

(3) 「ない」と答えた方にお尋ねします。

機会があれば部活動に関わりたいと思いますか？

- |              |           |
|--------------|-----------|
| ① 思わない       | ( 9 1 ) 人 |
| ② あまり思わない    | ( 3 9 ) 人 |
| ③ どちらとも言えない  | ( 4 8 ) 人 |
| ④ どちらかと言えば思う | ( 2 6 ) 人 |
| ⑤ 思う         | ( 8 ) 人   |

(4) 事務職員は単独で部活動指導や引率業務等ができないこと、部活動指導に係る手当がつかないことを知っていますか？

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| ① 知っている           | ( 2 4 3 ) 人 |
| ② 知らない ( 知らなかった ) | ( 9 ) 人     |

これによると、部活動に関わっている ( 関わったことがある ) のは、全体の約 16% でありである。

また、事務職員が部活動に関わるうえで困ったことや思うことについては、引率や手当等に関することが多く、そのほかにも「時間の制約がある」、「本務との関係」等も出ている。

質問 (3) の「機会があれば、部活動に関わりたいですか」との問に対しても、「思わない」、「あまり思わない」の回答が6割を超えており、事務職員の部活動への関わりもいろいろ難しいように思われる。

### 3 教員等との関わりについて

「学校」には「教員」もおり、生徒同様、直接的・間接的を問わず教員との関わりがあるのは当然である。

給与や手当、旅費、福利厚生事務担当であれば、事務職員の業務として関わっているし、それ以外の業務でも何らかの関わりがあるものだ。

次の業務について、あなたの学校はどのように ( 誰が ) 対処していますか？  
( 複数回答可 )

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| (1) 施設設備維持管理 ( 蛍光灯の交換等簡易なもの ) |             |
| ア 教頭                          | ( 0 ) 人     |
| イ 事務長                         | ( 7 ) 人     |
| ウ 教員・実習助手                     | ( 2 9 ) 人   |
| エ 事務職員                        | ( 1 0 8 ) 人 |
| オ 現業職員                        | ( 1 7 8 ) 人 |
| カ その他                         | ( 1 7 ) 人   |

学校という場所は、いろいろと修理が多いところである。もちろん、専門の業者でなければできないものもあるが、しかしながら、そのほとんどは、素人で、しかも、ドライバーやペンチ等の小道具があればできたり、ちょっとした材料さえあればできるものが多い。

例えば、蛍光灯の交換などは、よっぽど高い天井でない限りは、簡単にできるものである。一から十まで事務職員や現業職員で対応するのではなく、自分の担当のところは自分でできるようにしたいものである。

だが、最近はそのような簡単なこともできないのかもしれない。そんな場合、最初は一緒に現場をみて、方法を教えることも大事ではないだろうか。

- |                              |             |
|------------------------------|-------------|
| (2) 給付金等の申請事務 ( 共済組合・互助組合等 ) |             |
| ア 本人                         | ( 1 1 4 ) 人 |
| イ 事務職員                       | ( 2 0 7 ) 人 |

給付金等はいくまでも本人の申請によるものだが、事務職員からのちょっとした声かけによって、給付金が早くもらえたり、もらい損ねることがなくなるのではないか。それにより、認定事務がスムーズに進み、職員との人間関係がうまくいくのではないか。

(3) 各種徴収金（私費予算）の予算・決算・執行に関すること

ア	教頭	( 11 ) 人
イ	事務長	( 218 ) 人
ウ	教員・実習助手	( 98 ) 人
エ	事務職員	( 113 ) 人
オ	現業職員	( 9 ) 人
カ	その他	( 5 ) 人

(4) 学校行事（体育祭・文化祭ほか）に係る企画・運営に関すること

ア	教頭	( 137 ) 人
イ	事務長	( 107 ) 人
ウ	教員・実習助手	( 201 ) 人
エ	事務職員	( 36 ) 人
オ	現業職員	( 21 ) 人
カ	その他	( 4 ) 人

(5) 修学旅行の計画・予算・入札事務・決算に関すること

ア	教頭	( 94 ) 人
イ	事務長	( 155 ) 人
ウ	教員・実習助手	( 192 ) 人
エ	事務職員	( 65 ) 人
オ	現業職員	( 1 ) 人
カ	その他	( 5 ) 人

体育祭や文化祭などの学校行事に係る企画・運営や修学旅行の計画、予算、入札等については、教員が中心となってやっているものであり、事務室が関わっていると言っても、それらの企画の段階で事務長だけ入っているのが現状であろう。

旅費の支払いや県費執行等から考えると担当者である事務職員も企画・運営の段階から関わっていただけたらよいのではないか。

(6) 来客対応及び電話対応に関すること

ア	教頭	( 63 ) 人
イ	事務長	( 113 ) 人
ウ	教員・実習助手	( 29 ) 人
エ	事務職員	( 237 ) 人
オ	現業職員	( 198 ) 人
カ	その他	( 6 ) 人

(7) 授業料未納者に対する督促業務

ア	教頭	( 4 ) 人
イ	事務長	( 111 ) 人
ウ	教員・実習助手	( 116 ) 人
エ	事務職員	( 201 ) 人
オ	現業職員	( 16 ) 人
カ	その他	( 8 ) 人

授業料未納については、授業料事務担当者だけではなく、担任等と連携しながら取り組んでいく必要がある。このアンケートでの「教員・実習助手」の数字がもっと増えればよいのではないか。

4 資格・特技について

(1) あなたは何か資格や特技を持っていますか？

- 持っていない (204) 人  
 持っている (43) 人

(2) 「持っている」と答えた方にお尋ねします。

その資格や特技を持っていることによって、学校事務職員として役に立ったことがありますか？ ありましたら、その内容を教えてください。

資格・特技等	役に立ったこと
弓道 2 段 衛生管理士 行政書士	
野球	
アマチュア無線 剣道三段	
教員免許 (高一国 中一国)	
教員免許 (小)	
剣道二段	
栄養士 司書	
特殊無線技師	放送設備の導入に向けての企画, 保守等
無線電話	
ラジオ音響技能検定試験 2 級	
騒音関係公害防止管理者 二級ボイラー技士 危険物取扱者乙種四類 第三種冷凍機械責任者	
普通運転免許証 プロボクサーライセンス	出張時
エレクトーン	
小型建機免許	校内の花壇のブロックの撤去
小型建機免許	ユニボで駐車場の整地
ガラス溶接資格	
司書資格	職務に必要な知識と技術を活用できている
弓道二段	
ピアノ	
コンピューター利用技術検定 ワープロ実務検定 簿記検定	パソコンを使う仕事が多いので, 資格を取る際に勉強した関数が役に立っている
弓道 空手	
書道師範免許	卒業証書や賞状等の作成
第二種衛生管理者 防火管理者	
高等学校教員一種免許状	
柔道二段	中学校に勤務していたとき部活動の顧問をしていた
華道教授 弓道三段 リンパセラピスト	
野球審判員	
行政書士	
二級ボイラー技士 丙種危険物取扱者 特殊無線技師 (レーダー) 酸素欠乏危険作業主任者	
アマチュア無線 (4 級)	
卓球	大学のスポーツ科学科の推薦入試を受ける生徒の実技の練習相手になってあげることができた

資格・特技等	役に立ったこと
弓道二段	
サッカー審判員	スポーツをしていたことで、生徒とあまり関わることの少ない事務職員が部活を通して生徒とふれあう機会が増え、相談を受けたり、話をしたりして、仕事のうえでも充実した学校生活になった
秘書士 英検 タイプ検	文章等の作成が早い
アイスホッケー競技による冬季国体指導	学校職員が国体競技の指導を通じ、競技力向上・郷土のスポーツ発展に微力ながら貢献している様子をメディア等で広報されたことで、児童生徒や保護者の理解をはじめ、関係機関等との連携が円滑に進むことが多い
バドミントン	生徒から、職員や施設のことなどの情報は多い。本務に十分反映できる。仕事の面だけでなく、生徒としゃべることは楽しいし、いい気分転換になる
教員免許	
乙種危険物取扱者	直接的ではないが、ストーブの灯油の管理に役立っている。また、学生時代に消防設備士の資格の勉強をしたことがあり、学校の消防設備の維持管理に役立っている
サッカー3級審判員 サッカーC級コーチ	
介護福祉士 剣道三段	
日本体育協会公認スポーツ指導員 バスケットボール上級指導員	事務職員としてではないが、顧問として生徒に技術を指導することによって生徒が地区大会や県大会で勝つ喜びを与えることができて良かった
簿記検定2級 珠算検定2級	

以外と様々な資格や特技を持っているようである。

直接、仕事に役に立つものもあるが、そうでないものでも、生徒指導や部活動とは違った意味で生徒と関わることができ、気分転換がはかれ、仕事にもいい影響をあたえているものもあるようだ。

### (3) 自己啓発・資質向上のために日頃勉強していることがありますか？

自己啓発・資質向上のためにやっていること	回答数
読書や新聞の切り抜き	9
体のためにいいと思えること、情報等の収集	4
新聞の活用	3
いろいろな講座の受講（放送大学、公民館講座）	3
重要なことや自分で行った仕事内容の記録	2
パソコン	3
事務に直接関係のない専門書等でのボケ防止	2
会計規則等の勉強	1
社会科学（経済学）関係の読書	1
職員との交流	1
今は何もしていないが、仕事に関係ないことでも退職後のことを考えて何かしておきたい	1
新製品の商品知識の収集	1
哲学書等の読書	1
硬筆	1
手話	1
社会保障制度等の勉強	1
生徒や保護者への気持ちよい挨拶や対応	1
英会話	1
障害の種類についての勉強	1
研修会等への参加	1

直接、仕事と関係のないことを勉強することによって、事務職員としてではなく社会人として自己啓発や資質向上をはかっているようだ。



5 今後、学校事務職員に必要なもの（求められるもの）はどんなことだと思いますか？

a 1	迅速かつ正確、適切な事務処理	( 2 3 )	人
a 2	幅広い知識や経験	( 2 0 )	人
a 3	対応能力	( 1 6 )	人
a 4	総合力	( 8 )	人
a 5	情報の収集能力と分析能力	( 8 )	人
a 6	学校運営への参画	( 8 )	人
a 7	効率的な財政運営	( 7 )	人
a 8	協調性	( 7 )	人
a 9	公人としての自覚	( 6 )	人
a 10	バランス感覚	( 6 )	人
a 11	コミュニケーション力	( 6 )	人
a 12	企画力	( 6 )	人
a 13	職責感	( 5 )	人
a 14	接遇	( 5 )	人
a 15	信頼性	( 5 )	人
a 16	説明能力	( 5 )	人
a 17	パソコン技術	( 4 )	人
a 18	県民の目で考える	( 4 )	人
a 19	オールラウンドプレイヤー	( 3 )	人
a 20	高度な危機管理意識	( 3 )	人
a 21	創造性・創造力	( 3 )	人
a 22	多角的な研修	( 3 )	人
a 23	柔軟性	( 3 )	人
a 24	積極性	( 3 )	人
a 25	事務処理に関する教員への指導	( 2 )	人
a 26	柔らかい頭	( 2 )	人
a 27	関連する資格の取得	( 2 )	人
a 28	非違行為の絶滅	( 2 )	人
a 29	交渉力・渉外力	( 2 )	人
a 30	社会性	( 2 )	人
a 31	判断力	( 2 )	人
a 32	学校経営的な考え	( 2 )	人
a 33	チャレンジ精神	( 2 )	人
a 34	古い考えや習慣にとらわれない	( 2 )	人
a 35	知力・体力・精神力	( 1 )	人
a 36	事務室内での連携	( 1 )	人
a 37	先見性	( 1 )	人
a 38	広報活動	( 1 )	人
a 39	品格	( 1 )	人
a 40	サービス精神	( 1 )	人
a 41	調整力	( 1 )	人
a 42	学校事務への意欲的な取り組み	( 1 )	人
a 43	専門性	( 1 )	人
a 44	マネージメント力	( 1 )	人
a 45	ライフプランナー的な役割	( 1 )	人
a 46	温かい心	( 1 )	人
a 47	元気、やる気	( 1 )	人
a 48	熱い思い	( 1 )	人
a 49	問題意識	( 1 )	人
a 50	幅広く仕事をやること	( 1 )	人
a 51	コンプライアンス	( 1 )	人
a 52	自己研鑽	( 1 )	人
a 53	民間企業並みの諸業務の効率化	( 1 )	人
a 54	資質	( 1 )	人

この項目に多くの意見がでることをみても、私たちの将来について、関心が高いことがうかがわれる。ここでも、趣味や資格、自己啓発の項目と同様に、本務に関することとそれ以外のことの大きく二つに分かれるように思われる。

1 番目に多かった「迅速かつ正確な事務処理」は、事務職員の本務に直結するものであり、当然と言えば当然である。

2 番目に多かった「幅広い知識や経験」は本務に留まっていれば得られないものと考えられるので、本務以外の様々なことに挑戦し、経験を積んでいくことが求められていると考えられる。

今回の回答に「○○力」や「○○精神」、「○○感覚」、「○○性」、「○○意識」などの意見が多くみられたが、具体的な目標を設定して実践していくことが大切であると思われる。

## 6 これからの「学校事務職員像」

「学校」で働いている私たちにとって、生徒や教員との関わりは不可欠である。その関わり方は、人それぞれ、いろいろあるだろうが、「学校事務職員」であるからには生徒や教員との関わりは大切にしていきたいものである。

また、私たちが日頃行っている学校事務は、学生時代に学んだ知識を直接、生かすことはあまりないのが実情であり、日常の業務を通して、職務上の専門的な知識の習得や研修をおこなっていると言える。

では、ただ事務をこなせば良いかということそうでもない気がする。

職務上の知識は当然のことながら、職務外の知識を持っていることも重要であり、そのためには、仕事と直接関係のない分野にも強いことが大切ではないだろうか。

「歌って踊れる事務職員」・・・一見、冗談のようだが、ある意味においてこれからの学校事務職員を表しているのかもしれない。「歌って踊れる」とはもちろん言葉どおり歌ったり踊ったりすることではなく、「事務処理」だけではない「何か（一芸）」を持つことである。何かしら一芸に秀でた人は、ただ単にその芸（仕事）ができるということに留まらず、それに関する幅広い知識や人脈を持っていたりするものである。そのことが、日頃の学校事務を進めていくうえで大いにプラスになるのではないだろうか。

本務である事務処理はもちろんのこと、事務処理以外のことにも目を向け、努力したり自己研鑽に努めることによって、学校事務職員の周辺に何か起きる可能性はないだろうか。

## おわりに

この研究発表に取り組んできて、いただいた意見の多様さに驚くと同時に、これらの意見が学校事務職員自身の意見であり、いろいろと考えさせられるものがありました。

このことは、取りも直さず、私たちが働いている学校を取り巻く環境が、今後、さらに大きく変わっていくことを物語っているように思えます。

このような時だからこそ、ひとりひとりが「学校事務職員」としての自分を見つめ直し、これからの「学校における学校事務職員の必要性」について考えていかなければいけないのではないのでしょうか。

今回の私たちの発表に関しまして、もちろん、賛否両論、いろいろな意見があると思います。

それは当然のことであり、むしろ、そうしていろいろな意見がでることがこの研究発表に取り組んできた私たちの思いです。

そして、今回の研究発表が「これからの学校事務職員像」について、皆さんが考えるきっかけとなれば幸いです。